

特別記念講演

**大気科学と気候科学における
能動型センシングの役割**

**Role of the active sensing
in the satellite earth observation**

宇宙航空研究開発機構
地球観測研究センター 参与・
宇宙科学研究所 特任教授
東京大学 名誉教授

中島映至先生

プロフィール

中島映至(なかじま てるゆき)

JAXA 地球観測研究センター 参与・宇宙科学研究所 特任教授

東京大学 名誉教授

略歴: 大気放射学、雲・エアロゾルの気候影響、大気汚染、福島原発事故の環境汚染等の研究と推進に貢献。IPCC 第3次・第5次執筆者として地球温暖化評価に参加。日本学術会議会員、国際気候研究計画(WCRP)合同科学委員会委員・役員、日本地球惑星科学連合大気水圏科学セクションプレジデント等を歴任し、現在は国際気象学・大気科学国際協会(IAMAS)事務局長として地球科学の推進と振興に貢献。日本気象学会賞・同藤原賞、日産科学賞、米国地球物理学連合フェロー、紫綬褒章を受賞。

1973: 東北大学理学部物理学科卒

1977: 同大学院理学研究科地球物理学専攻博士課程退学

1981: 同理学博士

1977-1991: 東北大学理学部 技官・助手・助教授

1987-1990: NASAゴダード宇宙飛行センター, NRC 上席客員研究員

1991-2010: 東京大学気候システム研究センター准教授、教授、センター長

2010-2015: 東京大学大気海洋研究所 地球表層圏変動研究センター長

2015 年より現職